

Shakespeare's Wild Sisters Group(Taiwan) × 庭劇団ペニノ(Japan)

『 誠實浴池 せいじつよくじょう 』

Shakespeare's Wild Sisters Group × Niwa Gekidan Penino

『The Bathhouse of Honest Desires 』

日時 2025年 9月27日(土) 開場12:30／開演13:00

9月28日(日) 開場12:30／開演13:00

※本公演は、2か国語(日本語・中国語(繁体字))上演となります。

※字幕(日本語・中国語(繁体字)・英語)は舞台上方に設置予定です。

※上演時間は100分を予定しております。

チケット(全席指定・税込)

一般 5,000円／U-25 3,000円

好評発売中！

プレイガイド

●アスネットカウンター TEL.076-445-5511 (オーバード・ホール 大ホール1階)

営業時間10:00～18:00／定休日 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)

●アスネットオンライン <https://www.aubade.or.jp> 24時間予約可能

●チケットぴあ [t.pia.jp](https://www.t.pia.jp) [Pコード:534-393]

●ローソンチケット [l-tike.com](https://www.l-tike.com) [Lコード:51964]

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※U-25:鑑賞時25歳以下対象。公演当日、鑑賞者本人が年齢のわかる身分証明書をご提示の上、座席指定券とお引換ください。

※車椅子席は事前予約が必要です。アスネットカウンターまでお問合せください。

※やむを得ない事情により、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:(公財)富山市民文化事業団、富山市

共催:北日本新聞社、FM とやま

後援:北日本放送

製作:Shakespeare's Wild Sisters Group、庭劇団ペニノ(合同会社アルシュ)

初演/委嘱:国家両庁院(National Theater & Concert Hall, Taiwan)

助成:財団法人國家文化藝術基金會



アクセス

オーバード・ホール 中ホール

〒930-0858 富山市牛島町9-17(富山駅北口より徒歩3分)

※オーバード・ホールには駐車場がございませんので、お近くの有料駐車場をご利用ください。公共交通機関のご利用をおすすめします。



お問合せ:(公財)富山市民文化事業団 総務企画課 TEL.076-445-5610(平日8:30～17:15)

オーバード・ホール 検索



Shakespeare's Wild Sisters Group (Taiwan) × 庭劇団ペニノ(Japan)



出演
片桐はいり
金子清文
藤丸千
Fa
楊迦恩
崔台鎬
陳以恩
洪佩瑜

作演出
王嘉明
タニノクロウ

2025年
9月27日(土)
28日(日)
両日ともに開場12時30分／開演13時
オーバード・ホール 中ホール

The Bathhouse of Honest Desires



photo by Hsuan-Lang LIN, provided by National Theater & Concert Hall

官能と静謐が溶け合う、海辺の銭湯。

物語の舞台は、廃墟となった海辺の銭湯。

過去に囚われた男たちが集い、欲望と記憶のなかへと、身を沈めていくー。

川端康成の名作『眠れる美女』に着想を得て、台湾の名匠・王嘉明と、日本の鬼才・タニノクロウが

初めてタッグを組んだ、日台共同制作による異色の演劇作品『誠實浴池』。

2024年4月、台北の國家戯劇院にて初演され、大きな注目を集めた話題作が早くも日本に上陸します。

出演は、片桐はいり、金子清文、藤丸千ら日本の実力派俳優にくわえて、個性豊かな台湾の俳優たち。

人間の本質に触れる、官能的で色彩豊かな“大人のための童話”を是非ご覧ください。



片桐はいり
Hairi KATAGIRI



金子清文
Kiyobumi KANEKO



藤丸千
Sen FUJIMARU



Fa
Fa



楊迦恩
Chia-En YANG



崔台鎬
Tai-Hao TSUEI



陳以恩
Yi-En CHEN



洪佩瑜
Pei-Yu HUNG



提供:SWSG 撮影:Kris Kang



提供:SWSG 撮影:Kris Kang

ようこそ、痛ましく滑稽で美しい秘密倶楽部に

かつて日本の統治時代があった台湾では、当時日本が作った建築物や街並みがそのまま利用され、現代に溶け込んでいる光景をよく目にする。タニノクロウと王嘉明という、日台のアバンギャルドな演出家同士が組んだ『誠實浴池』は、そんな台湾の風景を思わせる、日本・台湾の幸せな融合と言える世界だった。

川端康成の『眠れる美女』がベースながらも、原作と重なるのは「特定の男性が通うことを許された秘密倶楽部」という設定のみ。廃墟のような公衆浴場に男たちが次々と訪れ、過酷な体験を切々と語る。それを聞いた女たちは、彼らの心を癒やすために、様々な指示を出していく……。極限と言える男たちの体験談と、浴場という場所性を活かした女たちのシュールなオーダーの数々。心を締め付けられるような痛みと「何を見せられてんだ？」という滑稽さが、まさに公衆浴場の温冷交代浴のように交互にやってきて、ついには美しさとユーモアがいびつに混じったような風景が出現する。台湾初演では、現地の伝統芸能を思わぬ形で活かしたこのシーンで観客が爆笑していたが、日本人にはどのように映るのか。それを再び目撃できるのが、楽しみでならない。(ライター 吉永美和子)



提供:SWSG 撮影:楊雅淳

王嘉明 Chia-Ming WANG

台湾大学地理学科、台北芸術大学劇場芸術創作大学院卒業。劇団「シェイクスピアズ・ワイルド・シスターズ・グループ」団長。入り組んだ作風や実験的な演出で知られ、俳優たちと共同作業を行いながら演劇の可能性と向き合い、思索を深めている。2018年には「東京芸術祭」に招待され「珈琲時光」を、2019年には、「バリ・フェスティバル・ドートンズ」において招待公演として『ディア・ライフ』を上演し、48年の歴史をもつフェスにおいて初めて台湾の戯曲作品を披露するなど世界で活躍している。

Shakespeare's Wild Sisters Group 莎士比亞的妹妹們的劇團

1995年夏に設立。「シェイクスピアの妹たち」の意である劇団名は、イギリスの作家ヴァージニア・ウルフの『自分だけの部屋 (A room of One's Own)』の登場人物が由来。女性の才能を男性中心の体制からの圧迫という呪縛から解き放つという意味がある。独創的な美学とスタイルを模索し続け、毎年実験的な新作の発表と国内外との文化交流を行う。1997年以降、多くの国・都市に招かれ、これまでに香港、マカオ、北京、青島、釜山、東京、ベルリン、シンガポール、神戸、パリ、アヴィニオンなどで公演。国内外での芸術と文化の交換に加え、創作プラットフォームの運営、演劇教育の推進、文化政策への参加を続けている。



タニノクロウ Kuro TANINO

1976年富山県生まれ。医学部在学中に劇団を旗揚げし、2016年『地獄谷温泉 無明ノ宿』にて第60回岸田國士戯曲賞を受賞。そのほか、2016年北日本新聞芸術選奨受賞、第71回文化庁芸術祭優秀受賞、2019年第36回とやま賞文化・芸術部門受賞。2022年、フランス国立ジュヌビルエ劇場アソシエイトアーティストに就任。2024年より岸田國士戯曲賞審査員を務める。2022年より富山市政策参与を務めた後、2025年5月より富山市政策アドバイザーに就任。

庭劇団ペニノ NIWA GEKIDAN PENINO

2000年1月に昭和大学演劇部メンバー有志にて結成。自宅マンションを改造した劇場スペース「はこぶね」や、野外での上演など、空間そのものへの鋭いこだわりを特徴とし、緻密に作り込まれた美術とともに独自の世界観を提示してきた。2009年以降は、国内のみならず、ドイツ、オランダ、オーストリア、イタリア、スイス、ベルギー、アメリカ、香港など様々な海外の舞台芸術祭へ多数招聘されている。近年はVR演劇『ダークマスター VR』など、新たな表現領域にも積極的に取り組んでいる。